

年 組 名前：

忍野八海 硬貨回収へ寄付募る

世界文化遺産に登録されている富士山の構成資産である忍野八海の一つ「湧池」などに投げ入れられて沈んだ硬貨（金属でできたお金）を回収するため、忍野村がインターネットを通じて寄付を募

忍野八海の湧池
＝忍野村内



っています。富士山が2013年に世界文化遺産に登録されてから、外国人観光客が増えています、観光客が湧

池や近くの川などに硬貨を投げ入れるのが目立つようになりました。多くは日本の硬貨で「(自分の国に)帰っても使わないので、投げ入れているのかもしれない」と村企画課は推察しています。16年以上、年2～5回のペースで回収していますが、約10年で2000万円以上のお金がかかっています。これまでに回収した硬貨は4万1000枚以上に上るそうです。村は、寄付金を回収作業に当たるダイバーの宿泊費や湧池の周りの清掃などに使う考えです。

(2025 年 10 月 9 日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと 10 面)

世界 文化 登録 投げ 入れ

お金 通じ 年 外国人 観光客

近く 川 目立つ 多く 日本

自分 国 帰る 使う 回 約 万

円 以上 上る 作業 当たる

周り 考え 込む

問1 忍野村は、なにを回収するために、寄付を募っていますか。

.....

問2 なぜ、外国人が、硬貨を投げ入れていると考えられていますか。

.....

問3 寄付金は、どのように使う予定ですか。

.....